



横浜市立一本松小学校

1月号

学校だより

令和2年1月7日
横浜市立一本松小学校
校長 小原 健人

2020年は

校長 小原 健人

年が明け、令和初の新年を迎えました。保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、昨年中より本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございました。本年も何卒よろしく願いいたします。

学校には、冬休みを終えた子ども達が元気に登校してきました。昨年の朝会で、2019年の漢字「令」、流行語の「one team」などに触れながら、「2019年を振り返って、楽しかったこと、嬉しかったこと、感動したことなどを思い出してみましよう」という話をしました。そして年が明けた今、きっと一人ひとりが胸いっぱい新たな希望や夢を抱いていることでしょう。

さて、2020年、今年はどんな年になるのでしょうか。

やはり世間で言われているのは「2020はオリンピック・パラリンピックイヤー」である、ということでしょうか。招致活動から開催地決定、シンボルマークやキャラクターのお披露目、チケット抽選、代表選手の決定など、ここ数年話題に事欠きませんでした。いよいよこの夏、1964年の大会から50年以上の時を経て、東京で2回目の大会が開かれます。横浜でもサッカーや野球、ソフトボールなど数種目が行われることが予定されています。もしかしたら観戦予定の方もいらっしゃるかもしれません。オリンピック・パラリンピックは大きな夢と感動を与え、子どもたちにも「私が小学生のころ、2020年東京大会があつてね・・・」と、後世まで語り継がれることでしょう。

私たち教育に携わる者としては、10年に一度の学習指導要領改訂の全面实施を迎える年でもある、ということも、とても大きな出来事となります。「英語(外国語)」や「プログラミング教育」など新しい言葉が並び、関心を集めていますが、本校でも昨年度設定した新たな学校教育目標「一本にまっすぐつながる 一本松」のもと、これからの時代をたくましく生きていく資質・能力「自分づくりと他者理解」が育まれるよう、しっかり取り組んでまいります。

さらに一本松小学校にとっては、創立110周年を来年に控え、様々な記念行事が始まる節目であり、大切な年になります。すでに子どもたちはマスコットキャラクターやスローガンを考えるなど、気持ちも盛り上がってきています。記念行事や式典などを企画・運営したり参加したりする中で、歴史ある本校に通うこと、本校から巣立つことへの誇り、学校やまちを愛する気持ちをもてるよう、1年を通して取り組んでまいります。また、地域の皆様、保護者の皆様にもご協力を賜ることも多いと思います。くれぐれもよろしくお願いいたします。

まだまだ楽しみなことがたくさんです。皆様にとっても素晴らしい年となりますように。今年も皆様のご支援ご協力のほど、よろしくお願いいたします。